

平成 22 年度 (社)日本家政学会中部支部第 1 回役員会議事録

日 時：平成 22 年 7 月 31 日(土) 11:00～15:20

場 所：愛知学泉大学 2 号館第 3 会議室

出席者：東珠実、池田彩子、石原久代、伊藤きよ子、江崎秀男、太田壽江、櫻井のり子、  
佐藤生一、高田洋子、長野宏子、中島喜代子、成田公子、新澤祥恵、長谷川えり子、  
平林由果、三輪聖子

欠席者：尾畑納子、松岡英子、森俊夫 (敬称略 五十音順)

- ・石原新支部長より就任の挨拶があった。
- ・平成 22 年度支部役員名簿の確認
- ・平成 21 年度第 4 回役員会議事録の確認があり、これを承認した。

## I. 報告事項

### 1. 理事会報告

支部長より、以下の理事会報告が行われた。

- ・入会申込者の入会の承認について
- ・第 62 回大会(広島大会)にて、入会手続きをしていない発表者が、当日入会した旨の報告があり、次年度からは発表申し込み段階で対処することが承認された。
- ・新法人に向けての進捗状況について
- ・各支部の支部規約の修正について
- ・今年度の三省堂サイエンス・カフェは北海道支部にて開催される。

### 2. 第 1 回役員連絡会報告

- ・第 1 回役員連絡会(6 月 19 日開催)報告が議事録をもとに行なわれた。

### 3. 資産名義変更について

- ・会計幹事より中部支部の資産の名義人を統一した旨、報告された。

### 4. その他

#### (1)若手の会報告

- ・若手の会代表より第 1 回ミーティングの報告が行われた。
- ・代表より若手の会の会員を増やしていきたいとの発言があり、支部長からも学会の発展と若手研究者育成のためとして、会員数増への協力要請がなされた。

#### (2)役員会の交通費について

- ・交通費の支給は役員会を単独開催する場合のみとし、支部行事と同時開催の場合は支給しないことを確認した。

#### (3)ホームページについて

- ・支部のホームページ掲載係を確認した。

## II. 協議事項

### 1. (社)日本家政学会中部支部規約改正について

- ・支部長より、支部規約の改正案について以下のように説明があり、これを承認した。  
① 第 10 条として役員解任に対する条項を追加する。

- ② 本部の指示により事業計画及び予算(第 12 条)、事業報告及び決算(第 14 条)の条項を追加する。
  - ③ 表彰事業を付け加える。付け加え方は他の支部に揃える。
  - ④ 今後、コンサルタントの指摘により一部変更の可能性もある。
  - ・ 今後、家政学会の新法人化に向けた支部規約の改正があった場合、支部総会には事後承諾という形になる旨報告され、了承した。
2. 中部支部賞について
- ・ 中部支部賞導入の経緯と他支部の例を確認後、中部支部論文賞(1 年間に 1 名以内)、中部支部大会発表奨励賞(同 2 名以内)、中部支部院生・学生発表奨励賞(同 2 名以内)の三賞を中部支部賞として設けることを了承した。
  - ・ 支部長より授賞内規(案)が提出され審議の結果、一部修正し、承認した。(別添資料)
  - ・ 支部幹事から今年度の選考委員 2 名を選出した。若手の会からも専門分野を考慮のうえ 1 ~2 名選出してもらうこととした。なお、支部賞対象研究の共同研究者などの諸事情により、年度内で委員を変更する場合は、役員会をメール審議で行うことが了承された。
3. 平成 22 年度支部研究発表会について
- ・ 平成 22 年度支部研究発表会の開催までのスケジュール、予算案、参加申込書、当日の日程、発表申し込み件数(口頭発表 12 件、ポスター発表 25 件)、大会発表奨励賞エントリー数、講演会、交通案内、会場、弁当について説明があり、検討・修正のうえ了承した。
  - ・ 口頭発表の座長 5 名を決定した。
  - ・ 広告代収入は愛知学泉大学事務局長の尽力によるものであることが紹介された。
4. 平成 23 年度支部研究発表会担当校について
- ・ 平成 23 年度支部研究発表会の担当校は、三重大学で承諾を得た旨、報告され、承認された。
5. 平成 22 年度家政学関連院生・学生研究発表会について
- ・ 名古屋女子大学を会場として 3 月 8~11 日の間に実施することとし、日にちの決定は支部長に一任することを了承した。
6. 平成 22 年度支部総会について
- ・ 総会のみで開催では出席者が少ないことから、若手の会による公開講演会を同時に開催できないかを検討し、支部決算の本部への報告時期との関係もあることから本部に確認し、次回の役員会にて再審議することとした。
7. その他
- (1)本部からの活動助成金の申請について
    - ・ 今年度の本部への活動助成の申請は若手の会の公開講演会をエントリーすることが承認された。次回役員会にて若手の会に案を提出してもらうこととした。
  - (2)朝日賞候補者の推薦について
    - ・ 本部より、朝日新聞社および朝日新聞文化財団が主催する朝日賞の候補者推薦依頼があったが、該当者なしとすることを了承した。
- Ⅲ. 会場見学
- ・ 平成 22 年度支部研究発表会の会場として予定されている施設を見学し、会場として適切であることを確認した。